



ハタハタ 日本海北部系群 令和4年度資源評価結果

生物学的特性

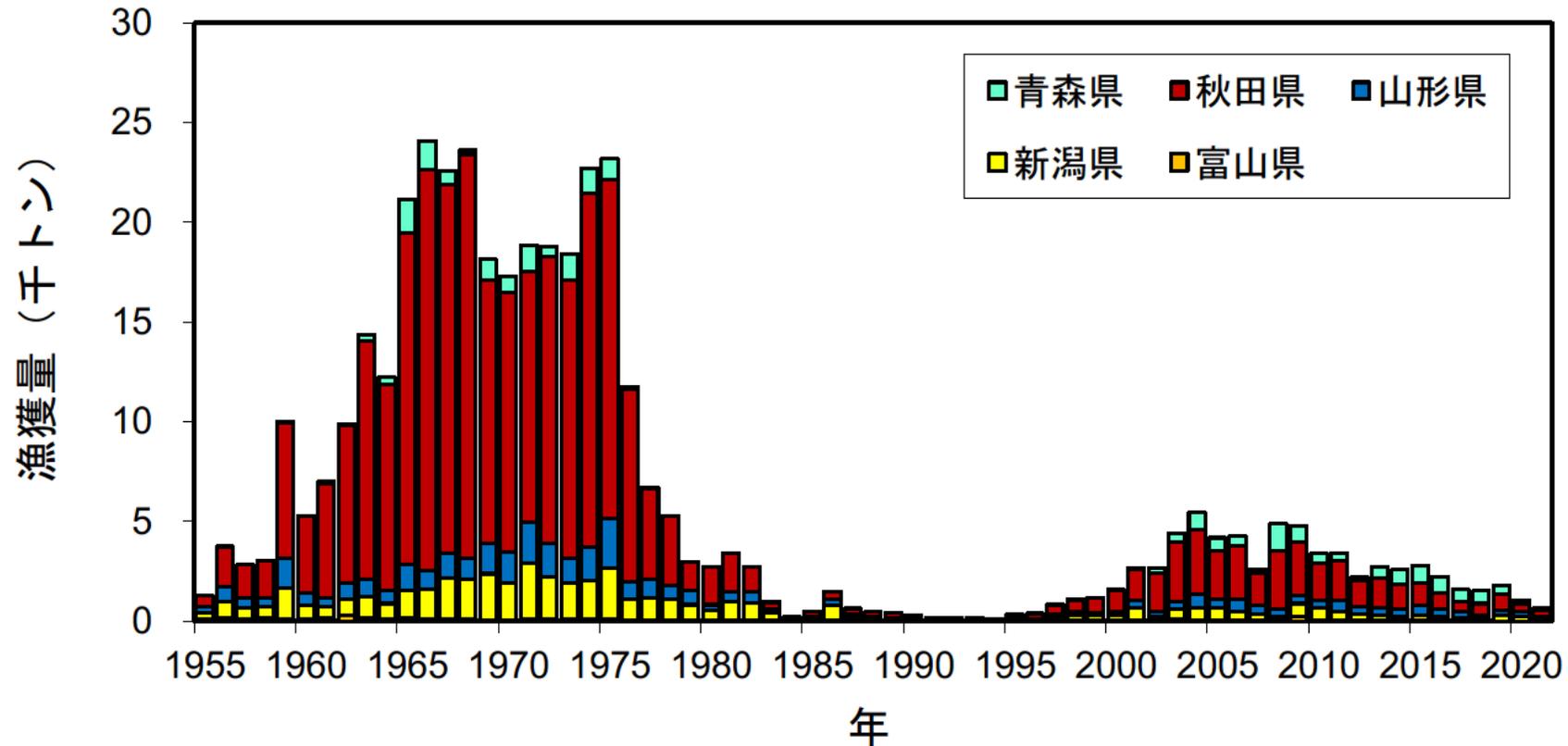


生物学的特性

- 寿命：5歳
- 成熟開始年齢：
雄1歳（割合は不明）
雌2歳（100%）
- 産卵期・産卵場：
12月上・中旬
主に秋田県沿岸の藻場
- 食性：
端脚類、橈脚類、オキアミ類、イカ類、魚類
- 捕食者：
大型魚類（マダラ等）

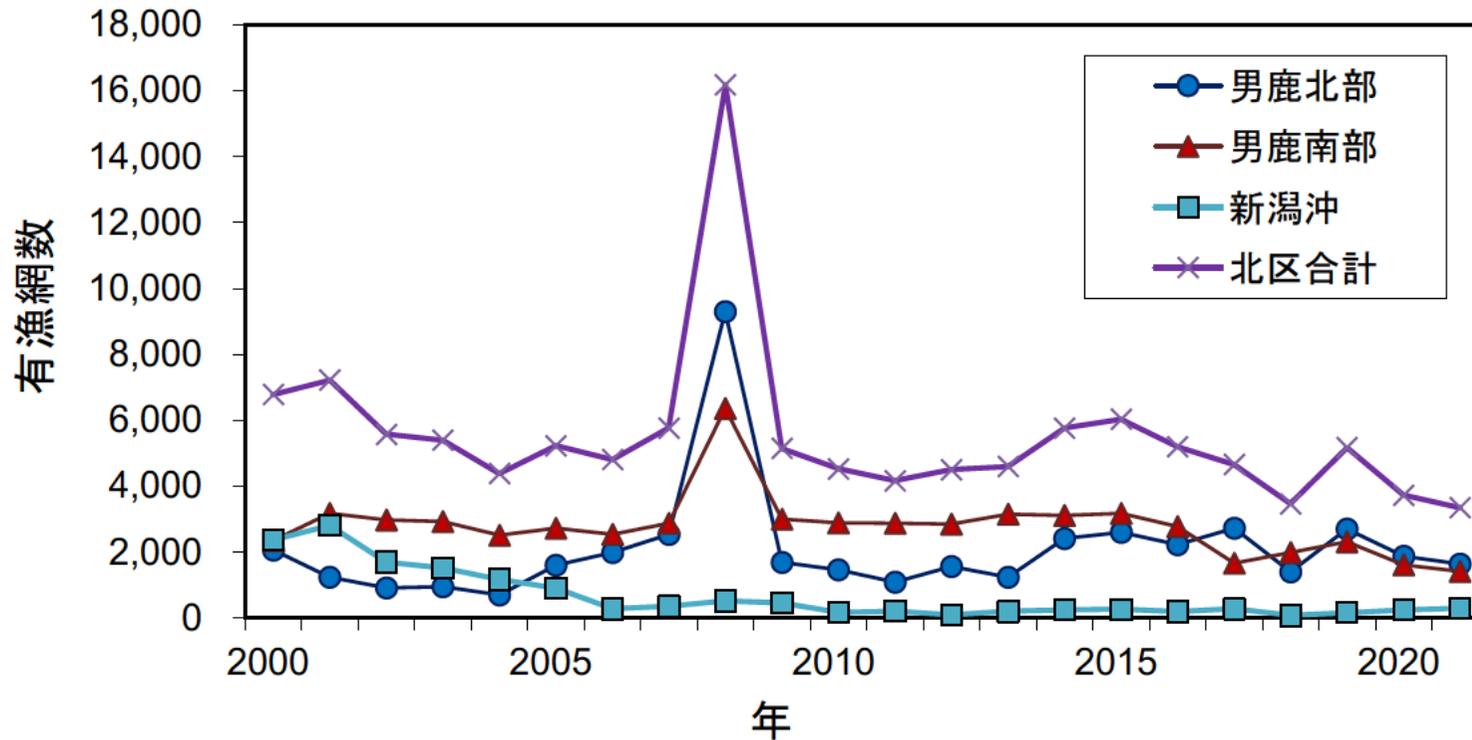
- 産卵接岸群は冬季に定置網漁業で、沖合へ移動した群は底びき網漁業（沖底、小底）で禁漁期間を除き周年漁獲

漁業の動向①



- 主漁法は底びき網、定置網
- 漁獲主体は秋田県・青森県、2021年は両県で全体の7割
- 近年の漁獲量は減少傾向、2021年の漁獲量：683トン

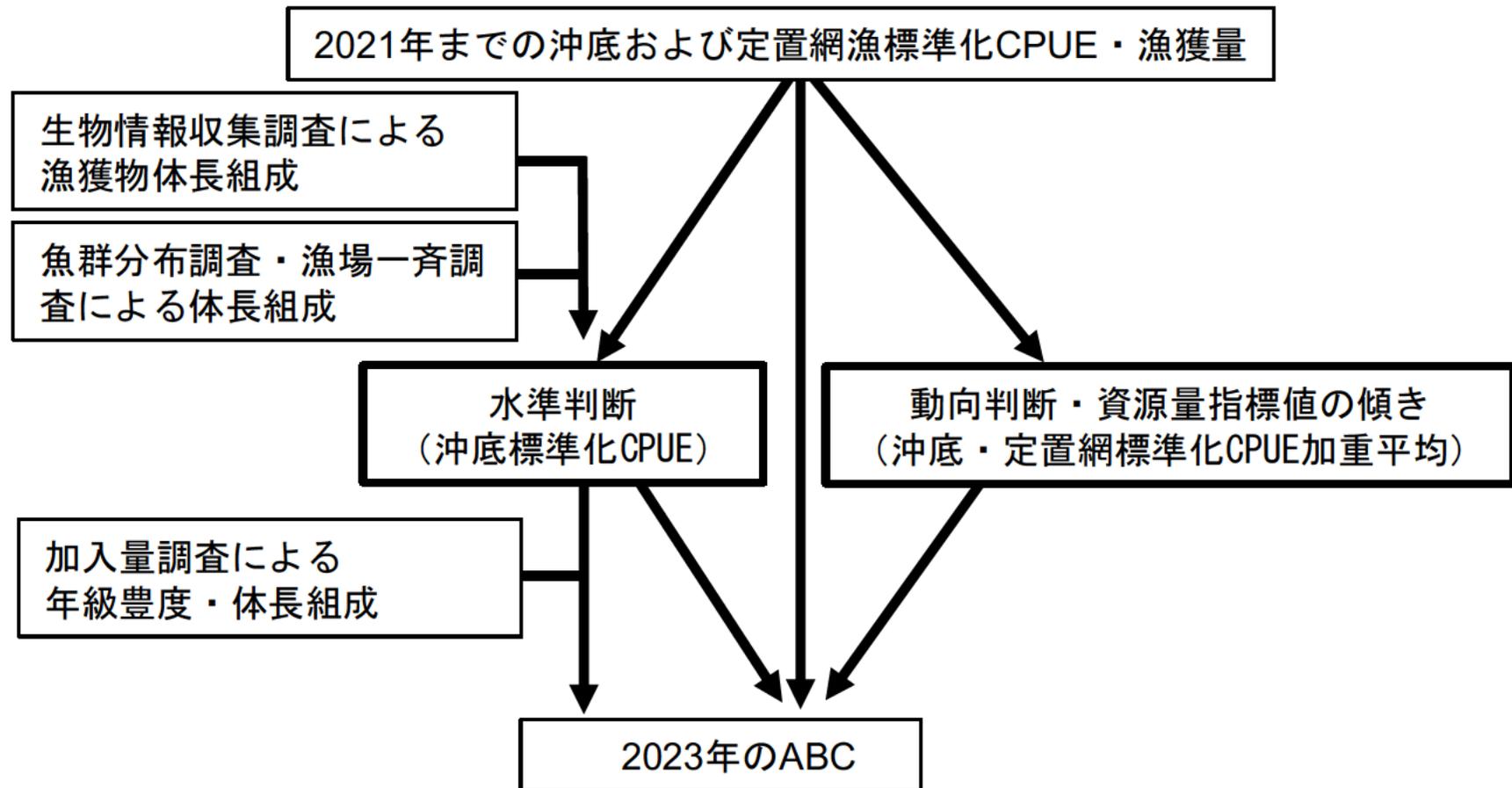
漁業の動向②



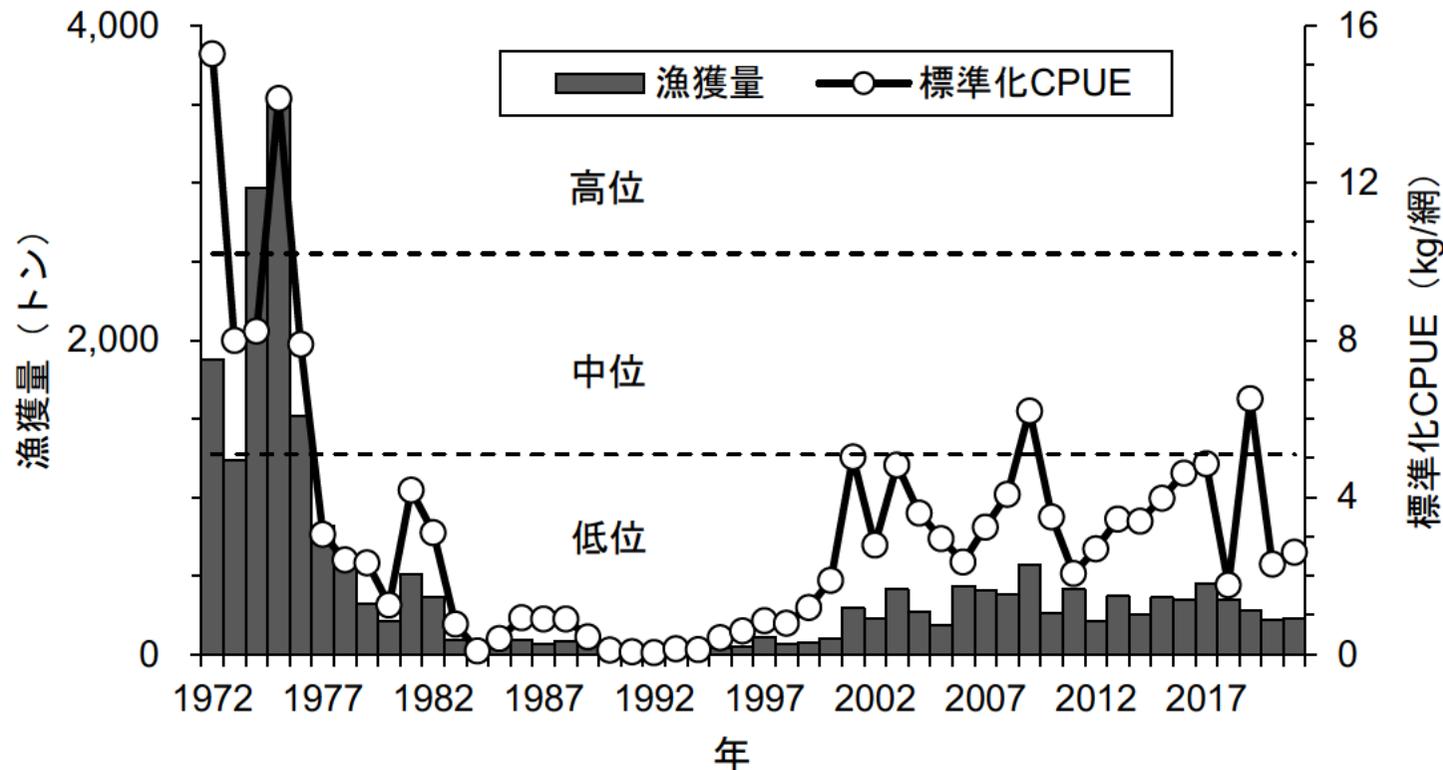
有漁網数：ハタハタの漁獲があった日・船の曳網数

- 沖底の有漁網数は、男鹿北部・男鹿南部・新潟沖ともに、長期的には減少傾向

資源評価の流れ



資源の動向①

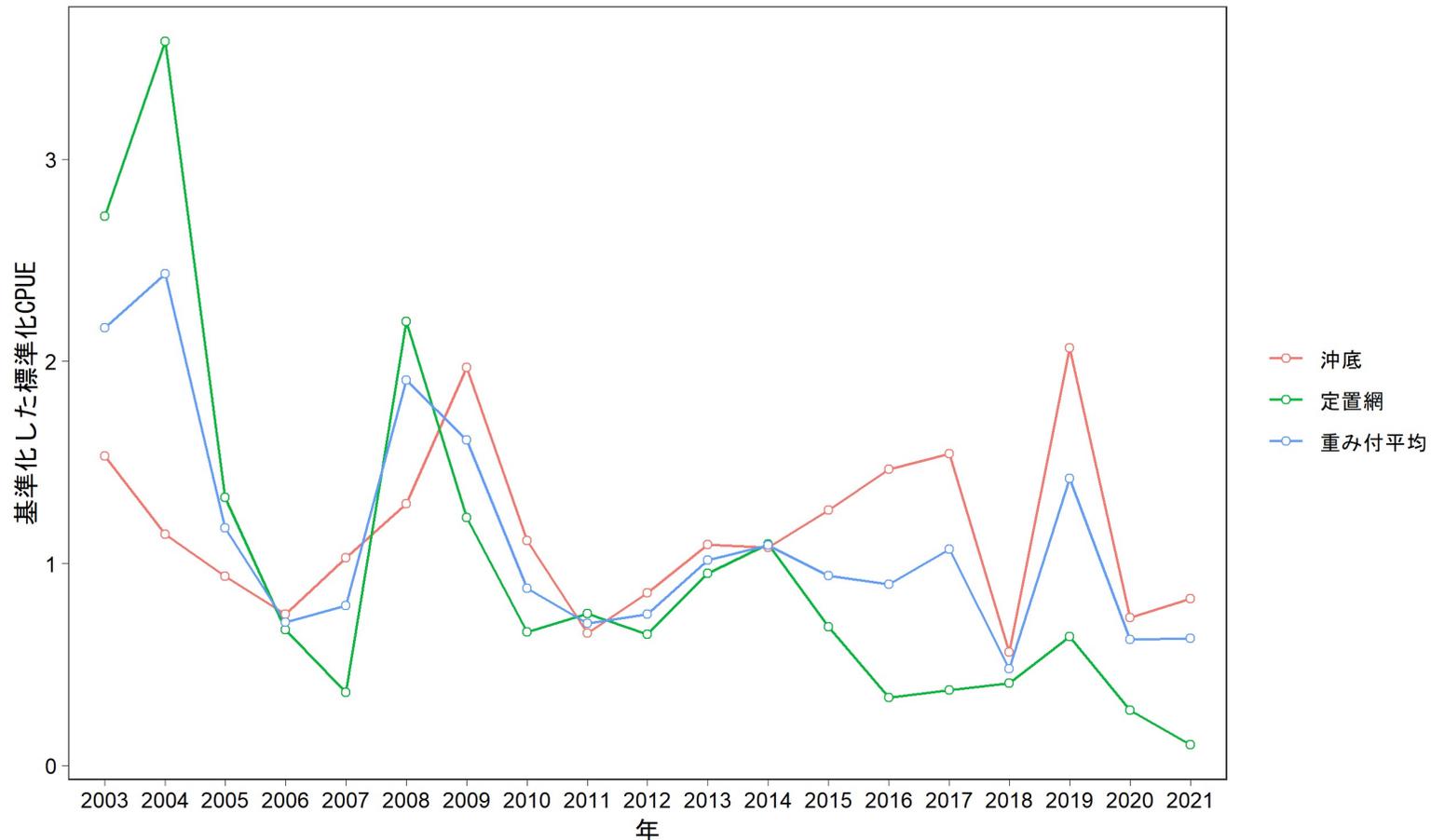


※水準区分 (標準化CPUEの最高値を3等分) 低位/中位: 標準化CPUE 5.1
中位/高位: 標準化CPUE 10.2

- 資源水準: 2021年の標準化CPUEは2.6であり「低位」

※標準化CPUE: 沖底1網あたりの漁獲量 (CPUE) を操業月や小海区などを説明変数とする一般化線形モデルにより標準化したCPUE

資源の動向②



- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の重み付き平均の推移から「横ばい」

※重み付平均：沖底および定置の標準化CPUEをそれぞれ底びき網（沖底・小型）と定置網の漁獲量で重み付けた平均値

資源評価のまとめ

- ハタハタ日本海北部系群の資源水準は「低位」、動向は「横ばい」
- 沖底および定置網の標準化CPUE、および基準化した標準化CPUEに基づいて資源状態、動向を判断

2023年ABC

管理基準	Target/Limit	2023年ABC (百トン)	漁獲割合 (%)	F値(現状のF値からの 増減%)
0.7・Cave3-yr・0.55	Target	4	—	—
	Limit	5	—	—

- ABC算定規則の2-1) により、 $ABC\ limit = \delta_1 \cdot Ct \cdot \gamma_1$ で計算
- δ_1 : 0.7 (低位水準での推奨値)
- Ct : Cave3-yr (直近3年間(2019~2021年)の平均漁獲量)
- γ_1 : 0.55 (標準化CPUEの増減に基づく調整係数)